

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		生活排水対策事業			担当課	環境衛生課	担当係	環境衛生係	管理番号	40141
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷市浄化槽設置補助金交付要綱、深谷市合併処理浄化槽維持管理補助金交付要綱			
	小項目	2	水の安定供給と下水処理の適正化							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、公共下水道及び農業集落排水処理区域以外の区域の生活排水処理対策を推進するための事業であり、既存単独処理浄化槽又はくみ取便槽から合併処理浄化槽への転換や合併処理浄化槽を法令に基づき適正に維持管理した場合に補助金を交付する。								
目的 ※何のために		公共用水域の水質の向上								
対象 ※誰・何を対象に		自己居住用として単独浄化槽又はくみ取り便槽から合併浄化槽に転換する者（設置補助金）、自己居住用として使用している合併浄化槽の管理者（維持管理補助金）								
手段 ※どのように		合併処理浄化槽への転換設置工事費に対して当該設置者へ、合併処理浄化槽の維持管理費に対して当該管理者へ５年間で限度として補助金を交付する。								
成果 ※何を求めるか		生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止（設置補助金）、合併処理浄化槽の普及促進及び良好な維持管理（維持管理補助金）								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	7	公害対策費	生活排水対策事業	17,555,000
本事業の 主な業務		・ 合併処理浄化槽設置補助金交付							・	
		・ 合併処理浄化槽維持管理補助金交付							・	
		・ 浄化槽関係届出書の受付事務							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画								
事業費	予算（現額）	20,810,000	20,410,000	20,004,000	18,801,000			
	決算額	16,402,000	17,555,000	0	0			
	財源内訳	国支出金	4,051,000	4,789,000	5,197,000	5,197,000		
		県支出金	3,000,000	3,800,000	4,000,000	4,000,000		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0	0		
		一般財源	9,351,000	8,966,000	10,807,000	9,604,000		
人件費	従事職員数（人）	0.75	0.75	0.75	0.75			
	人件費相当試算※	5,902,168.00	6,007,624.00	6,270,675.00	6,270,675.00			
総事業費試算		22,304,168	23,562,624	26,274,675	25,071,675			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	合併処理浄化槽設置補助金交付件数	目標値	件	20.00	20.00	20.00				
		実績値		15.00	19.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			補助金交付要件を満たしていれば、予算の限り交付する。 / 当該年度交付件数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	合併処理浄化槽維持管理補助金交付件数	目標値	件	500.00	480.00	460.00				
		実績値		417.00	383.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			補助金交付要件を満たしていれば、予算の限り交付する。 / 当該年度交付件数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	単独処理浄化槽基数	目標値	基							
		実績値		4,551.00	4,525.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			経済的理由等により、単独処理浄化槽残基数が変動するため、目標値の設定はできない。 / 浄化槽の設置基数（埼玉県データ）						
	実績値の算出式									
成果指標 2	合併処理浄化槽の浄化槽法第11検査受検率	目標値	%	69.00	70.20	71.40				
		実績値		64.50	64.50					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去3箇年の実績を基に比例案分（年1.2%の増）し、目標値を設定した。 / 浄化槽法第11検査受検率（埼玉）						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	設置補助金の目標基数には届かなかったが、合併処理浄化槽設置補助金、維持管理補助金の請求について適正に精査を行い補助金の交付事務を行うことができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	単独処理浄化槽や汲み取り便槽は公共下水道の整備や合併処理浄化槽の普及促進により着実に減少している。 法定検査の受検率は県平均（37.6%）を上回っているが目標を超えることはできなかった。
			評価者 係長 木村 明人

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	合併処理浄化槽の普及促進また、維持管理や補助金の仕組みについて広報等により広く周知を図るなど啓発活動を実施することができている。
			評価者 係長 木村 明人

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	設置補助金の申請件数が目標値に届いていないことから補助金の啓発に力を入れる必要がある。
達成状況及び その効果	目標件数20件に対し19件の申請があったほか、年度末にも数件の申請があったが工事の完了が見込めないため次年度に補助金申請を変更してもらった方もいたことから、普及啓発の効果はあったと考えられる。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	生活排水対策事業	担当課	環境衛生課	担当係	環境衛生係	管理番号	40141
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		公共水域の水質保全のため公共下水道の整備とともに合併処理浄化槽整備による生活排水対策事業は有効な事業である。今後も合併処理浄化槽の整備率向上のために、補助金の交付は有効と考えられる。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	課長 加藤 昇				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	設置補助金の申請件数が目標値に届いていないことから補助金の啓発に力を入れる必要がある。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	単独処理浄化槽や汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換を進めるよう啓発活動を行っていく。

8. 評価指標グラフ

